

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 2 月 10 日(2022.2.10)

【公開番号】特開 2021-178260(P2021-178260A)

【公開日】令和 3 年 11 月 18 日(2021.11.18)

【年通号数】公開・登録公報 2021-056

【出願番号】特願 2021-135949(P2021-135949)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 2 日(2022.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域が前面に形成された遊技盤と、

前記遊技盤が装着される本体枠とを備え、

前記遊技領域に設けた始動口への入球により抽選を行い、該抽選の結果が当りの場合に遊技者に所定の利益を付与するようにした遊技機であって、

前記遊技盤の裏面側に設けられ、主制御基板ボックスに収容される基板と、

該主制御基板ボックス内に設けられると共に前記抽選の当り確率に関する設定値を設定可能な設定スイッチと、を備え、

30

前記主制御基板ボックスは、

ベース体と、

該ベース体に被さる透明なカバー体とを備えると共に、該カバー体と前記ベース体の間の内部空間に前記基板を収容するものであり、

前記設定スイッチは、取付部と、該取付部の頂部形状より小径なシリンダ状で前記遊技盤の裏面側から設定キーにより回動操作可能な設定キーシリンダとを有し、

前記設定キーシリンダの頂部は、前記カバー体に開設された開口部から外部に露出しており、

前記カバー体には、前記設定キーシリンダを収容可能であって、内径一定の内周壁が前記設定キーシリンダの外周壁との間で所定の隙間を成す受筒部が設けられ、

40

前記設定スイッチの設定キーシリンダの外周よりも外側にはみ出す前記取付部の頂部に、前記受筒部の反開口部側の筒端部を近接させることにより、前記隙間から差し入れられた異物を前記受筒部の軸線と平行な前記内周壁に沿って前記取付部の頂部のはみ出し部分に向かわせ、そうして前記内部空間内への通過を阻害し得るようにし、

前記取付部は、前記取付部の頂部のはみ出し部分から延び、前記基板の表面に当接しうる底辺よりもさらに延びる差込み片を備え、

該差込み片が前記基板に設けられた差込み孔に挿入、固定されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目標を達成するため本発明は、請求項1に記載したように、

遊技球が流下する遊技領域が前面に形成された遊技盤と、

前記遊技盤が装着される本体枠とを備え、

前記遊技領域に設けた始動口への入球により抽選を行い、該抽選の結果が当りの場合に遊技者に所定の利益を付与するようにした遊技機であって、

10

前記遊技盤の裏面側に設けられ、主制御基板ボックスに収容される基板と、

該主制御基板ボックス内に設けられると共に前記抽選の当り確率に関する設定値を設定可能な設定スイッチと、を備え、

前記主制御基板ボックスは、

ベース体と、

該ベース体に被さる透明なカバー体とを備えると共に、該カバー体と前記ベース体の間の内部空間に前記基板を収容するものであり、

前記設定スイッチは、取付部と、該取付部の頂部形状より小径なシリンダ状で前記遊技盤の裏面側から設定キーにより回動操作可能な設定キーシリンダとを有し、

前記設定キーシリンダの頂部は、前記カバー体に開設された開口部から外部に露出しており、

20

前記カバー体には、前記設定キーシリンダを収容可能であって、内径一定の内周壁が前記設定キーシリンダの外周壁との間で所定の隙間を成す受筒部が設けられ、

前記設定スイッチの設定キーシリンダの外周よりも外側にはみ出す前記取付部の頂部に、前記受筒部の反開口部側の筒端部を近接させることにより、前記隙間から差し入れられた異物を前記受筒部の軸線と平行な前記内周壁に沿って前記取付部の頂部のはみ出し部分に向かわせ、そうして前記内部空間内への通過を阻害し得るようにし、

前記取付部は、前記取付部の頂部のはみ出し部分から延び、前記基板の表面に当接する底辺よりもさらに延びる差込み片を備え、

該差込み片が前記基板に設けられた差込み孔に挿入、固定されている

30

ことを特徴とする。

40

50